

令和5年9月12日

桑折町議会
議長 片平 秀雄 様

広報広聴常任委員会
委員長 川名 静子

委員会調査報告書

本委員会に付託された調査事件について、調査報告を下記のとおり、会議規則第77条の規定により報告します。

記

1 調査事件

住民参加と情報公開の推進について

2 調査目的

議会改革活性化方針（平成30年3月報告）の具現化のため

3 調査の経過

□令和5年5月18日

所管事務調査の進め方について協議検討を行い、議会報告会について県内での先進事例を各自調査し、次回の委員会で報告することとした。

□令和5年5月25日

議会報告会の県内での先進事例の調査結果を各委員から報告を受け、今後の所管事務調査の進め方について、協議検討を行った。

□令和5年7月11日

調査を進めるにあたり、子を持つ若者世代の意見を参考とするため、委

員会主催の意見交換会を開催することの有無について協議を行い、開催することに決定した。

□令和5年7月13日

意見交換会の開催に向け、対象者、日時、場所、内容等について協議を行った。今回の対象者は子育て世代を代表してPTA役員に依頼することとし、「開かれた議会を目指して」をテーマに8月5日の午後5時から開催することとした。

□令和5年8月1日

意見交換会開催に向け、当日の役割、進め方について協議を行った。

□令和5年8月5日

「開かれた議会を目指して」をテーマに「住民参加」と「情報公開」について、子育て世代と意見交換を行った。

□令和5年8月18日

これまでの調査を基に報告の内容について、協議を行った。

□令和5年9月4日

報告書の内容について協議し、最終確認を行った。

4 調査結果

(1) 住民参加について

「開かれた議会」実現のため、議会報告・意見交換会を開催してきた。しかし、新型コロナウイルス感染症の影響から、町民会議等の開催は控えざるを得なかった。

今期の調査は、議会報告・意見交換会に若い世代の参加が少なく、政策立案の起点とする町民の声を聴取できないことが課題であった。そこで、第一段階として、当委員会と子育て世代でもあるPTA役員の方たちとの意見交換会が実施できた。これは議会にとっても大きな一歩と捉えている。今後の議会報告・意見交換会は、あらゆる世代の意見を聴取するため、日程・手法（オンラインを含む）等を検討し、「開かれた議会」「町民に寄り添う議会」を目指して活動すべきである。

また、議会モニター制度設置から5年が経過し、今年度は、若者・子育て世代からの参加もあり、議会発展のため、多方面からの貴重な意見をいただいている。今後においても議会活動に反映させていく。

(2) 情報公開について

「議会だより」は、定例会終了後1ヶ月以内の発行を目指し、取り組んできました。また、解りやすい「議会だより」を目指し、広報クリニックでのアドバイスや町民からの意見を編集に活かしてきました。これからの「議会だより」は読みやすさ(可読性・視認性・判読性)を考慮した紙面づくり、さらには、読者の声が反映できる「議会だより」が望まれる。

デジタル社会に対応した町民への情報発信としては、SNS(X(旧 twitter)・Instagram・LINE等)活用は有効な手段である。議会として、SNS町公式アカウントの更なる活用を検討していくことが必要である。